

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 (沼隈支所3階)
 TEL 980-7713
 FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

阪神淡路大震災を語り継ぐ

のこ
**息子が遺した手紙が
 つないだこと**
 ~命と愛の大切さを伝えたい~



講師 **加藤 りつこ**

加藤りつこプロフィール

1995年1月17日未明に発生した阪神淡路大震災で一人息子の貴光さん(当時神戸大学 2年・21歳)を亡くす。生きる気力を失い茫然自失の日々をさまよう中で、息子が入学時母親宛に書いた手紙がマスコミで紹介され、全国で反響を呼ぶ。ミュージシャンの奥野勝利さんがその手紙を知り「親愛なる母上様」という曲が出来上がった。現在も体験を語り継ぐ活動を続けている。

とき 9月5日(水)
 19時30分~21時

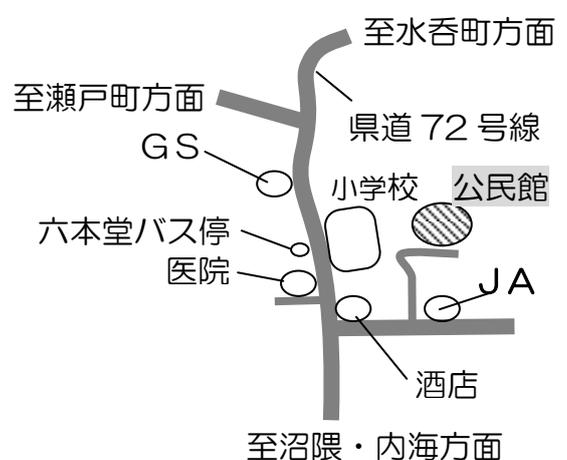
場所 福山市熊野公民館
 (福山市熊野町乙1068-1)

入場は無料です

※ 駐車場は JA 福山市熊野支店・熊野公民館駐車場です。係員の指示に従い駐車してください。

お問い合わせ 南部生涯学習センター

電話 084-980-7713



主催 南部生涯学習センター
 熊野学区人権学習推進協議会



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくたい ひと
 視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。



南部こんなんやるday



泉公民館 TEL: 951-1557

講演会のお知らせ

講師 戸口 勝己 さん
(前保護司)

とき 9月8日(土)
19:00~21:00

ところ 泉公民館 2階会議室

内容 ◆更生保護女性会の活動について
◆DVD「人生の分かれ道」
(薬物乱用について)
◆話し合い

内海公民館 TEL: 986-3722

生涯学習講座

押し花教室



とき 9月26日(水)
13:30~

ところ 内海公民館 集会室

定員 10人(先着順)

締切 9月14日(金)

材料費 実費

南部生涯学習センター TEL: 980-7714

講演あり落語ありの90分!!



第30回 城西校区人権学習講座

こけ枝のほのぼの人権噺

とき 9月27日(金) 19:30~

ところ 山手コミュニティセンター



桂 こけ枝 / 落語家

一度見ると忘れたくてもなかなか忘れることのできない独特の風貌は、芸人にとっては他ならぬ大きなメリット。現在、人権落語や健康落語、講演会の構成での舞台が好評、各地で人気を博す。

自身が先天性股関節脱臼により、生まれつき右足をひきずりながら生活してきて、またその中でさまざまな人との関わりを通して得た貴重な体験をもとに、差別の愚かしさ、人権の尊さを、人を引き込む独特の風貌とほのぼのとした語り口調で説きます。

主催: 城西校区人権学習講座実行委員会

山本瀧之助に学ぶ 書道・絵手紙作品展 作品募集

沼隈町出身で、青年団活動の生みの親である山本瀧之助。2011年は瀧之助没80周年ということで、福山市内を巡回するパネル展を実施しました。そして今年度は、山本瀧之助が残したさまざまな「言葉」に関する書道作品と、絵手紙を募集します。集まった作品は、沼隈図書館に展示させていただきます。どしどしご応募ください。

●書道作品

《課題》

「一日一善」(いちにち いちぜん)
 「退一步而待人」(いっぽしりぞいてひとをまつ)
 「はやおき」
 「巡回講習」(じゅんかいこうしゅう)
 「己に克てよ」(おのれに かてよ)

※半紙の様式は問いません。

※学生の方は、作品の左端に学校名・学年・名前を記入してください。一般の方は、学区名・名前を記入してください。

●絵手紙作品

《課題》

「一日一善」

※用紙の大きさは問いません。

- 募集期間 8月1日(水)～9月30日(日)
- 対象 小学生の部/中学生の部/高校生の部/一般の部
- 展示期間 11月8日(木)から11月19日(月)
- 展示場所 沼隈図書館2階 市民ギャラリー
- 応募方法 事務局へ郵送していただくか、ご持参ください。
- 応募・問合せ先
 山本瀧之助に学ぶ会実行委員会事務局
 〒720-0392
 福山市沼隈町大字草深 1889 番地 6
 南部生涯学習センター内
 電話：(084) 980-7713
- 主催 山本瀧之助に学ぶ会実行委員会
- 後援 福山市/福山市教育委員会
- この事業は、福山市キーワードモデル事業として実施するものです。

ふくやま子どもフェスティバル 2012

広げよう!つなごう!いっぱい笑顔!
 ~あつまれ! ふくやま(2980)っ子~

「ふくやま子どもフェスティバル2012」において、子どもたちの体験活動をサポートするボランティアを募集します。

【活動日時・場所】

日時：11月3日(土) 10:00~15:00
 場所：まなびの館ローズコム・中央公園

【対象・定員】

対象：中学生以上
 定員：100人程度

【ボランティア説明会】

10月13日(土) 10:00~(予定)

※このボランティア活動は『まちづくりパスポート』の対象です。(ポイントは活動時間によって異なります)

《主催》ふくやま子どもフェスティバル実行委員会



ボランティア募集

【活動内容】

- ①子どもたちに工作などを教えよう!
- ②環境美化にとりくもう!
- ③その他の体験活動をサポート!

【申込み方法】

- ①名前、②連絡先、③参加可能時間
- ④希望する活動があれば TEL, FAX, E-mail のいずれかにてお申し込みください。

申込み締切り 9月28日(金)

【申込み・問い合わせ先】生涯学習課

TEL：084-928-1243

FAX：084-928-1229

Mail：shougai-gakushuu

@city.fukuyama.hiroshima.jp

ふくやま子どもフェスティバル2012

検索



こども大学 報告

7/28(土) 夏休み探検ツアー

強い太陽が照りつける中、走島に探検ツアーに出かけました！走島の歴史・産業・環境についてたくさん学びました。



走島の食材だけを使った昼ごはん



史跡ウォークラリー



鯛の稚魚を放流しました！



海辺の環境調査

8/22(水)~24(金) 絵本おばけやしき

宮沢賢治作「注文の多い料理店」の切り絵をストーリー順に迷路のように展示し、読み進めていく「絵本おばけやしき」を実施しました。



どなたも どうか
おはいりください
けして ごえんりよは
いりません



切り絵作家 吉田路子さんによる
こわ〜絵本の読み聞かせの様子



真っ暗闇のなか、懐中電灯を
持って読み進めています

「はだしのゲンが見たヒロシマ」上映会& 8/11(土) 平和の木を育てよう

沼隈図書館にて、『はだしのゲン』の作者である中沢啓二さんのドキュメンタリー映画を鑑賞しました。そして、世界中が平和になるように、平和の木をみんなの手で育てました！

平和の木、育成中！



完成した平和の木は、
沼隈図書館正面玄関に
飾られています。



8/28(火) 探検・ふくやまエネルギーパーク

福山市次世代エネルギーパーク（リサイクルプラザ・メガソーラー発電所・エフピコリサイクル工場）を探検し、将来のエネルギーの在り方について学びました。



福山市リサイクル工場



メガソーラー発電所



RDFリサイクル発電所



エフピコリサイクル工場

チャレンジウィーク福山 @ 南部生涯学習センター

8月20日（月）から24日（金）の5日間、千年中学校2年生の3人の生徒が南部生涯学習センターに職場体験にやってきました。3人とも日が増すごとにどんどん積極的に行動できるようになり、その成長ぶりにこちらが驚かされました。この5日間を通して、働くことの大変さ、楽しさを知ってもらえたかなと思います。また、指導する側もたくさん学ぶことがあり、とても有意義な5日間となりました。

1日目



こども大学「絵本おばけやしき」の準備

2日目



強い日差しの中、沼隈図書館の剪定作業

3日目



地域パソコン教室用のパソコン設置

4日目



絵本おばけやしきの受付業務

最終日



最後のあいさつありがとうございました！

チャレンジウィークを終えて

お気に入りの
写真と一緒に (^o^)

この一週間で自分は大きく成長したと思いました。積極的な挨拶や炎天下での剪定作業で忍耐力などを養う事ができました。これも大切な時間を裂いて下さった職員の方々のおかげだと、本当に感謝しています。

これから、職場体験で学んだ事を学校や他の場所でも活かしていきたいと思いました。一週間ありがとうございました。

藤原 修平



この1週間はとても充実していました。

剪定作業はとても大変でした。

こども大学は取材がきて、3日間沢山人達がきてくれました。

この1週間仕事の大変さがとても分かりました。

鈴木 重丸



この1週間はとても充実した1週間でした。

炎天下の中剪定作業はきつかったです。

こども大学は結構人が来ました。

TV取材の方々もいらっしゃいました。

3日間結構繁盛して充実した3日間でした。

門田 大輔



青年の父

やまもとたきのすけ あしあと たす

山本瀧之助の足跡を訪ねて

ちほうせいねんだんたい

【14】『地方青年団体』の出版I

『地方青年団体』の本は、1909年（明治42年）に発行した瀧之助にとって3冊目の本である。この本は、これまで『吉備時報』などで論じた青年教育論や指導法などを1冊にまとめたもので、青年団体の指導者向けに書いた本である。

いりよくたんれん

青年団体の機能は、意力鍛錬と教育の機関であると位置づけ、青年教育の根本原理として4綱領を考えている。

その第一は「体育」、第二は「道徳教育」である。「体育」では、

健康に関する正しい知識を得ると共に、相撲・射的・徒歩の励行

を奨めている。「道徳教育」では、「孝行」を重視するべきである

と主張する。第三は「町村民教育」、第四は「補習教育」である。「町村民教育」では、愛郷

心と愛国心を育てることと農業知識の学習をあげている。特に道路改修・荒地開拓・消防

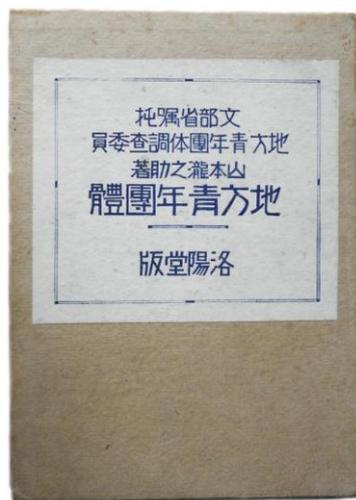
活動などの団体活動を通じて質実剛健、犠牲の精神を育てることをねらった。「補習教育」では、主として夜学会で行

い、青年に役立つ実学的なものを重視している。例えば、教材として新聞や誤字のある葉書を使っている。また、講話会の開催や先輩訪問などの実践的なことを提唱している。

指導者向けに書かれた本であったが、3000部以上売られている。これは、内容が優れていたからである。この本は小松原文部大臣に贈られ、大臣から「青年団体盛ナラントスル時期二際シ頗ル適当ナ著作」と礼状が届いた。よほどうれしかったと見え、彼は額に入れ、自宅に保管していたが、今は沼隈図書館の瀧之助記念室に展示されている。

指導者向けに書かれた本であったが、3000部以上売られている。これは、内容が優れていたからである。この本は小松原文部大臣に贈られ、大臣から「青年団体盛ナラントスル時期二際シ頗ル適当ナ著作」と礼状が届いた。よほどうれしかったと見え、彼は額に入れ、自宅に保管していたが、今は沼隈図書館の瀧之助記念室に展示されている。

執筆：上田 靖士（山本瀧之助研究委員会）



あしだかわが

第100号の発行を迎えました!

今回発行の2012年9月号をもって、南部生涯学習センター学習情報紙「あしだかわ」が第100号の発行を迎えました。これからも人権・平和・環境など、さまざまな生涯学習に関する情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願ひします。



ホノサンのむすび

各学区で住民学習会が実施されています。住民学習会は今から33年前の1979年（昭和54年）、同和問題についての市民の理解を深める目的で始まりました。そして現在では、同和問題のほか、地域の人権問題について広く話し合いが行われています。私たちが暮らす地域では、お年寄りから子どもまで、一人ひとりが人権を基底にして暮らしています。

住民学習会で、自分自身の人権とすべての人々の人権について考えてみましょう。

